

2022年8月9日

各 位

会 社 名 株式会社 東急レクリエーション
 代 表 者 取締役社長 菅野 信三
 (コード番号 9631 東証スタンダード市場)
 問 合 せ 先 総務部長 中西 裕一
 (TEL. 03-3462-8888)

剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年8月9日開催の取締役会において、2022年6月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を下記のとおり決議いたしました。また、2022年12月期の期末配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月12日公表)	前期実績 (2021年12月期中間配当)
基準日	2022年6月30日	同左	2021年6月30日
1株当たり配当金	15円00銭	未定	0円00銭
配当金の総額	95百万円	—	—
効力発生日	2022年9月27日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

2. 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想 (2022年5月12日公表)	未定	未定	未定
今回修正予想		15円00銭	30円00銭
当期実績	15円00銭		
前期実績 (2021年12月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

3. 理 由

当社では、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして認識しており、安定配当の維持・継続を基本方針とし、過去の実績、会社の財産状況、今後の展望および配当性向水準などを勘案して決定いたしております。

2022年12月期第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、本日公表いたしました「2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおり、映像事業が想定を上回り好調に推移した結果、売上高は前期実績を上回り、営業損益以下の各段階損益は、いずれも前期は損失を計上したものの、当第2四半期は利益を計上することとなりました。このため、当第2四半期の業績に鑑み、未定としておりました中間配当につきましては、前記のとおり、1株あたり15円とさせていただきます。また、2022年12月期の通期の業績予想も堅調に推移することが予測されることから、期末配当予想につきましても未定から1株当たり15円とさせていただきますと存じます。これにより、2022年12月期の年間配当予想は、1株当たり30円となります。

以上